

トピックス

都市計画セミナーを開催しました

茨城県都市計画協会

令和6年8月23日(金)に、茨城県市町村会館大会議室において都市計画セミナーを開催し、29市町村及び県から約80名が出席しました。「官民連携まちづくり」及び「コンパクト・プラス・ネットワーク」をテーマに下記4名の講師よりご講演をいただきました。

■「官民連携まちづくり」 (講師：(株)アルメック 内山 征氏)

内山氏からは、笠間市や日立市、さらには神奈川県平塚市のまちづくりを事例に、ご自身のご経験から「官民連携まちづくり」についてご講演いただきました。

近年、都市整備が進み、まちをつくる時代からつかう時代となり、行政主体のまちづくりから地域主体のまちづくりに転換する機運が高まっています。そのため、地域が地域ごとの課題や目標を自ら考え、オーダーメイドのまちづくりを進めていくことが有効となっており、行政は地域のまちづくりをサポートする立場として、住民と一緒に地域ごとのニーズに合ったまちづくりを進めることが必要であるとのお話がありました。

官民連携まちづくりは参加者から非常に関心の高いテーマであり、内山氏のご経験に基づくご講演は非常に参考になりました。

■「岩手県北上市都市計画マスタープランについて」(講師：北上市都市整備部都市計画課 高橋 能史氏)

高橋氏からは、都市計画マスタープランと立地適正化計画を一体の計画としてまとめた事例として、「岩手県北上市都市計画マスタープランについて」ご講演いただきました。

北上市では、集約型都市構造の実現に向け、都市計画マスタープラン「『あじさい都市』きたかみ」を令和4年3月に策定しました。

都市計画マスタープランと立地適正化計画を一体に



内山 征氏



高橋 能史氏

策定することについての経緯やメリットについても、ご説明頂きました。

今後、県内においても、都市計画マスタープランと立地適正化計画の一体的な策定を検討している市町村があることから、高橋氏のご講演は非常に参考となりました。

■「土浦市立地適正化計画の見直しについて」 (講師：土浦市都市政策部都市計画課 東郷 裕人氏)

東郷氏からは、「土浦市立地適正化計画の見直しについて」ご講演いただきました。

土浦市では、従前の立地適正化計画策定後、都市機能誘導区域内に誘導施設が立地した地区において、居住誘導効果がありました。また、中心市街地にハザードエリアを含む土浦市の防災指針では、災害リスクや地区ごとの課題を整理した上で、居住誘導の考え方や防災まちづくりの取組方針等を設定したとのお話がありました。

今後、県内市町村においても、立地適正化計画の作成や見直しを予定している市町村もあることから、東郷氏のご講演は非常に参考になりました。

■「坂東市立地適正化計画の見直しについて」 (講師：坂東市都市建設部都市整備課 北村 允孝氏)

北村氏からは、「坂東市立地適正化計画の見直しについて」ご講演いただきました。

今回の改定は、立地適正化計画公表後、おおむね5年経過したことに伴う現状把握及び法改正に伴う防災指針を追加したものであり、改定の内容や、国・県等の関係機関との調整の流れや内容等について具体的にご紹介いただきました。

今後、県内においても、立地適正化計画の作成や見直しを予定している市町村もあることから、北村氏のご講演は非常に参考になりました。



東郷 裕人氏



北村 允孝氏